

---

## 巻頭言

# 「今夏の楽しみ！」

公益社団法人 日本防犯設備協会 常任理事 堀之北 寿朗  
(株式会社 日立産業制御ソリューションズ セキュリティ画像システム本部 副本部長)



令和元年、最初の夏がやってきました。私ごとですが今夏の楽しみの一つとして社会人野球最高峰の大会「都市対抗野球大会」があります。弊社の関係では、2年ぶりに日立製作所野球部が北関東地区日立市代表として、出場することになりました。(この「防犯設備」盛夏号が発行される頃には、黒獅子旗と一緒に写真を撮っているかもしれません)

日立野球部創設100年目の2016年の時は、決勝まで勝ち上がりましたが、残念ながらトヨタ自動車に負けて準優勝でした。野球の試合では負けたのですが、このときの日立応援団が応援団コンクールでみごと最優秀賞に輝きました。私も決勝戦に東京ドームへ応援に行きましたが、このときの日立応援団は、約2万人(グループ会社含め)が駆けつけました。日立市近辺の各事業所からは大応援団がバスで駆けつけ、東京本社地区はグループ会社含めたくさんの応援の人々が試合前に東京ドームの周りに列をつくって入場していました。自陣側の内野席から外野席まで日立色であるオレンジ色に染まり、声援が響き渡り、ウェーブも内野席から外野席まで続き、その迫力は素晴らしいもので今でも目に焼きついています。普段はあまり意識していませんでしたが、日立野球部が、社員の一体感醸成に非常に貢献していると実感したひと時でした。

一方で、東京ドームというイベント会場に2万人以上が集結しているところで、万が一災害やテロが発生したら…と想像するとぞっとするものがあります。なぜなら、試合終了後の通路の混雑は激しく、場外に退場するまでに数10分を要したので、改善が必要だと感じました。

来る東京オリンピック・パラリンピックでは、7月4日の発表を見ると、新国立競技場の防災設備としては、通路を多くし、退避スペースも確保して、15分以内に競技場外に出られるようにしたということで、相当な安全対策がされているようです。また、6月末の警視庁の発表では、競技場と

最寄り駅をつなぐ道「ラストマイル」には140台の防犯カメラが新設され運用されるということです。イベント開催時に稼働させ、テロだけでなく、雑踏事故を防ぐ目的もあるようです。ただし、東京オリンピック・パラリンピックのイベント会場は東京都だけではなく、近隣の県でも、同様の安全安心の対策が進むと考えられます。また、東京オリンピック・パラリンピックだけにとどまらず、いろいろなイベントが継続して開催されるということと思いますので、当協会関係者の対策が今後も貢献し、無事に開催され、安全安心にイベントを楽しめるようにしたいものです。

昭和、平成といずれも平和を望む年号ですが、令和も同様に平和な時代を築きたいという思いが溢れています。当協会の一員として令和の時代への貢献としては、安全安心な社会のために、会員の皆様方と協力しながら、当協会の社会的役割を果たすべく微力ながら頑張りたいと思っています。一方私的には、人生百年時代、歳に負けぬよう身体を鍛え、心身ともに健康な状態を保てるよう緊湊一番、頑張りたいと思います。